

令和3（2021）年度 事業報告書

★ 大阪工業技術専門学校

1. 学科別出願者、入学者数の状況

（令和4（2022）年5月1日現在）

学科名	区分	入学定員	出願者	入学者
建築学科		120名	121名(120)	115名(109)
建築設計学科		30名	35名(32)	32名(30)
インテリアデザイン学科		40名	36名(41)	33名(36)
大工技能学科		40名	43名(44)	43名(42)
ロボット・機械学科		40名	39名(45)	34名(38)
建築士専科		50名	37名(32)	33名(31)
Ⅱ部建築学科		50名	68名(68)	61名(61)
フレックス建築学科		40名	0名(2)	0名(2)
合 計		410名	379名(384)	351名(349)

（ ）は昨年度数

2. 就職の状況

① I 部 卒業生

（令和4（2022）年3月31日現在）

学科名	令和元（2019）年度				令和2（2020）年度				令和3（2021）年度			
	卒業者	求職者	内定者	内定率	卒業者	求職者	内定者	内定率	卒業者	求職者	内定者	内定率
建築学科	88	65	56	86.2	101	71	67	94.4	113	97	88	90.7
建築設計学科	14	9	9	100	22	17	15	88.2	24	20	16	80.0
設備環境デザイン学科	11	11	11	100	7	7	7	100	1	1	1	100.0
大工技能学科	31	31	30	96.8	33	32	32	100	28	26	25	96.2
インテリアデザイン学科	24	16	16	100	29	27	25	92.6	39	24	19	79.2
ロボット・機械学科	40	38	37	97.4	43	41	41	100	40	39	32	82.1
建築士専科	46	46	45	97.8	27	26	26	100	30	29	28	96.6
合 計	254	216	204	94.4	262	221	213	96.4	275	236	209	88.6

※内定率は、内定者÷求職者で、単位は%です

3. 教育行事

1) 企業研修 夏季全学科合計：R3：100名（R2：未実施、R1：126名）

春季全学科合計：R3：55名（R2：161名、R1：21名）

※ 夏季または春季休暇期間中の1～2週間で実施

※ 緊急事態宣言の発令に伴い、令和元（2019）年春季実施分は期間途中で中止、令和2（2020）年、夏季は中止とした

2) 保護者会の実施

▶対面実施に代えて「進路説明会」を動画配信

3) 大阪府「あすなろ夢建築」コンペへの参加

▶令和3（2021）年度1名グランプリ、1名準グランプリ、1名奨励賞

4) 社会に向けたモノづくり実践事業

▶大工技能学科の作品寄贈等学外実習は中止、学内実習に置き換えた

5) ロボット競技会の実施、及び全国専門学校ロボット競技会への参加

▶令和3（2021）年度の開催中止（主催者）

4. 教育改革等

令和2（2020）年から続くコロナ禍対応策として、講義系科目はオンライン、実習系科目は対面の併用型授業運営により進めた。オンライン授業については昨年からの経験もあって年度を通してスムーズに授業運営を行うことができたが、担当する教員により授業の質に差異も見られ、質向上を目指すことが検討事項であると確認された。3号館4階の4教室および6号館3階の1教室に電子黒板が設置され、実施可能な科目から先行して電子教材を用いた効果的な授業の試行、検討を始めた。電子黒板の導入により、オンライン授業で開発した電子教材が対面授業においても利用可能であること、効率よく密度の高い授業が可能であること等が確認できたことは成果として挙げられる。引き続きICT活用による教育技法の検討、研究を行っていく。

学力低位の学生が多く入学してくる中、基礎学力テストにより対象者を絞り出し基礎学力養成講座への参加を指示。オンライン授業による講座であったが毎回ほとんどの者が参加しており、除中退への歯止めにも多少なりとも役立っていると推察する。しかしながら、コロナ感染拡大により休講や分散登校など余儀なくされ、登校が減ったことで担任との接触機会、教員への授業内容の質問機会等が減少したことは否めず、それが一定の除中退者を出した原因の一つとも考えられる。これについては時間割の調整等も含め次年度の検討事項である。

次に、キャリアデザイン授業の一部である「進路基礎講座」は社会人マナーやSPI対策、学生の進路意識向上や活発な進路活動を促すことに効果を上げている。「企業研修」はコロナ禍で縮小や中止した企業もあったが、そのような中でも多くの学生がエントリーした。これは企業側が採用活動の一環として重視する傾向が一因と思われる。企業研修は職業意識の強化や適性確認等、効果的に進路意識向上を図る術でもあり、引き続き企業研修参加への継続的な指導を行っていく。

最後に、多くの学外実習が中止となり、なかなか出口の見いだせない状況下の中、職業実践、産学接

続を実現すべく、各学科で形を変え可能な限り、企業、行政等と連携した教育行事を行った。

(1) 資格取得強化事業

新入生全員（リカレント学生の一部を除く）に対して実施している『ビジネス能力検定3級・2級（文科省後援）』と学科の授業科目に対応した『福祉住環境コーディネーター3級』、『2次元CAD利用技術者2級』及び建築士専科が100%合格を目標としている『2級建築士試験（国家資格）』の合格率は下記の通りである。

II部建築学科・フレックス建築学科を除く全学科（1年生）

（令和3.12.5実施）

資格名	受験者数	合格者数	合格率	全国平均
ビジネス能力検定3級	94名	72名	76.6%	82.8%
ビジネス能力検定2級	8名	5名	62.5%	71.3%

建築学科A・B・C・Dクラス、建築設計学科（1年生）

（令和3.7.14～8.6実施）

資格名	受験者数	合格者数	合格率	全国平均
福祉住環境コーディネーター3級	92名	52名	56.5%	84.4%

ロボット・機械学科（1年生）

資格名	受験者数	合格者数	合格率	全国平均
2次元CAD利用技術者2級	13名	1名	7.7%	集計中

建築士専科

2級建築士試験					
	受験者数	合格者数	不合格者数	合格率	全国平均
学科試験（1次）	31名	25名	6名	80.6%	41.9%
製図試験（2次）	23名	18名	5名	78.3%	48.6%
総合	31名	18名	3名	58.1%	23.6%

☆ エクステンション事業

資格取得支援事業として、主に卒業生及び在校生を対象に各種試験対策講座を実施した。

・講座事業

資格試験対策講座	受講期間	受講時間	受講者数
2級建築士合格講座（製図）	2か月	63時間	11名
第2種電気工事士講座（筆記&技能）	4か月	65時間	未開講
合計			11名

*積水ハウス 設計マインド研修

1年次初級版として、10/17、24、31に入社1年目社員133名に研修（講習）を実施した。
4年次中級版として、8/23、24、9/6、7、13、14、16、17に入社4年目社員81名に対する研修（講習）を実施した。両研修とも完全オンライン形式として開催した。

☆ 校友会の活動状況

1. 第84期総会をオンラインにて開催（令和3（2021）年11月13日）
2. 在学生への新型コロナ対策支援
 - ① 留学生支援（全留学生に1万円のQUOカード、昨年度未入国の留学生に3万円を贈呈）
 - ② 在校生支援（I部全学生に1.2千円分の食事券、II部全学生に千円のQUOカードを贈呈）
3. 支部活動及び留学生歓迎会や卒業パーティーについては、新型コロナの影響により中止
4. 入学お祝いのお食事券を発行
5. 校友会祝意として表彰と金一封を贈呈
 - ①第39回ROBO-ONE ②ロボファイト23 ③第11回キャチロボトーナメント
 - ④第26回つやまロボコン ⑤第40回大阪都市景観建築賞 大阪府知事賞（OB）
 - ⑥第53回中部建築賞 入賞(OB)
6. 建築学科の現場見学会及びリカレント生の特別講座を実施
7. 日本国際ドラゴンボート選手権大会に出場（スモールの部 第4位）
8. 1級建築士合格者情報の入手要請を受け、一斉メールとHPにて報奨金制度を告知し、報奨金を贈呈（25名）
9. 校友会ネットワーク推薦制度として7名を推薦した
10. 卒業アルバムと校友会リーフレットを作成及び卒業セレモニーを学生自治会と企画（諸般の事情により中止し、特別賞授与式に変更）
11. 校友会奨励賞の審査及び表彰と金一封を贈呈（卒業式にて4組）

★ 大阪リハビリテーション専門学校

1. 入学試験の状況

学科名	区分	入学定員	志願者	合格者	入学者
Ⅱ部理学療法学科 (3年制)		40名	58名 (60)	42名 (46)	40名 (43)
Ⅱ部作業療法学科 (3年制)		40名	44名 (48)	39名 (40)	34名 (36)

()は昨年度数

令和4(2022)年度入学試験より、社会人AO入試を開始した。

各入試方式別の志願者数、入学者数は以下のとおりである。

学科名	区分	AO (高校生)	高校推薦	一般	社会人AO
理学療法学科 入学者数 (志願者)		4名 (4名*)	1名 (1名)	14名(22名)	21名(31名)
作業療法学科 入学者数 (志願者)		1名 (1名*)	1名 (1名)	15名(18名)	17名(24名)

*AO (高校生) 入試エントリー人数は、PT 6名、OT 3名。

2. 国家試験の合格者数の状況

専任教員による国家試験対策授業に加え、複数回の模擬試験の実施と分析、外部講師による直前対策セミナーを行った。また、模擬試験結果を踏まえ、成績低迷者に対しては個別やグループでの補講を実施するなど、学生に合わせたきめ細やかな指導を行った結果、両学科ともに全国平均を大きく上回る合格率を達成した。

(1) OCRの合格状況

	受験者数	合格者数	合格率
理学療法士	24名	23名	95.8%
作業療法士	35名	33名	94.3%

(2) 全国の合格状況

	受験者数	合格者数	合格率
理学療法士	10,549名	9,296名	88.1%
作業療法士	4,861名	4,311名	88.7%

3. 就職の状況

令和3(2021)年度の求人数については、理学療法士2,380件、作業療法士2,236件であった。

前年に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、求人数自体は昨年度よりも増加した。両学科ともに、専任教員が個別で学生指導を行うと共に、臨床現場におけるネットワークを最大限活用し就職支援を行った結果、下記の通りの結果となった。

	卒業生数	国家試験合格者数	就職者数		進学者数	就職活動中
			資格に係る業	その他		
理学療法学科	24	23	21	1	0	2
作業療法学科	35	33	30	1	1	3

※コロナ禍で求人を早期に締め切る病院や施設が増え、年明け以降の求人が減少している中、国家試験受験後の就職先未定者は、希望地域や分野への就職に拘り、活動を継続しており、教員も要請に応じ引き続き指導を行う。

4. 教育指導

退学者数の抑制を課題として、以下の対策を行なった。

成績不良者には開講時間前の登校を義務化し、個別の課題学習に取り組みせ、技術未習得者に対しても毎週土曜日の午後に、教員3名で実技指導にあたった。これらに加え、全般的に理解が難しいと思われる科目については、時間外で補習授業を設定し、クラス単位で参加を促し、知識の習得をはかった。また、退学者や休学者が特に1年次に多いことに鑑み、入学後の学習や学校生活を円滑に開始できるよう、不安点を解消する目的で、令和4(2022)年度入学生に対する入学前オリエンテーションを3月に初めて実施した。また、入学後の個別面談については1年に2回実施しているが、1年生の前期に退学や休学が多い事から、1年生は前期に集中して個別面談を2回実施し、各学生の状況把握を強化するようにした。ただ例年、保護者との連携を強化するため学生の学習状況や生活態度などについて保護者との面談を行なってきたが、令和3(2021)年度は新型コロナウイルスによる影響で実施できなかった。

臨床実習では、実習途中でのリタイアを無くすため、専任教員が定期的に実習先を訪問し、臨床実習指導者と連携しての学生指導を実施している。全員一律での対応ではなく、問題となる学生を予測し、回数を増やすなど、学生に合わせた細やかなサポートを行っている。

教育課程の面については、両学科ともに職業実践専門課程として学校関係者評価委員会を1年に1回、教育課程編成委員会を2回開催し、外部委員の意見を取り入れながら検討を重ね、指摘いただいた内容について改善を行ない、教育内容に反映している。

なお、理学療法学科では、開講時間を月曜日から土曜日の18時からに設定しているが、作業療法学科については、平日の上記の開講時間に加え、16時20分からと土曜日の9時から開講する時間選択制を設け、柔軟な時間割設定を取り入れている。学生からの希望もあるため今後も継続していきたい。

5. 学習環境（施設）の整備について

- ・2号館 601教室・講堂 プロジェクターの改修、作業実習室1 モニターの新規設置。
基礎医学実習室及び治療実習室 イスの新規購入。
- ・2号館 情報処理室一式(PC、床張替及び什器) 新規入替を行った。

★ 大阪保健医療大学

1. 入学試験の状況

(名)

区分 専攻名	入学 定員	志願者									入学者
		総合型 選抜	学校 推薦型	一 般 (センター併用)	チャ レンジ	社 会人	指定校 推薦	一般 (ST)	第一 次 第二 次 (研究 科)	合 計	
理学療法学 専攻	70	79 (81)	44 (90)	40 (38)	19 (26)	0 (0)	22 (19)	—	—	204 (254)	85 (79)
作業療法学 専攻	30	24 (15)	11 (23)	12 (6)	8 (5)	0 (1)	6 (3)	—	—	61 (53)	26 (22)
言語聴覚 専攻科	40	—	—	—	—	—	—	26 (29)	—	26 (29)	21 (23)
保健医療学 研究科	6	—	—	—	—	—	—	—	3 (3)	3 (3)	3 (3)
合 計	146	103 (96)	55 (113)	52 (44)	27 (31)	0 (1)	28 (22)	26 (29)	3 (3)	294 (339)	135 (127)

(第2志望含む) () は昨年度数

2. 国家試験の合格者数の状況

学部では専任教員による国家試験対策授業、卒業生による対策講座やグループ指導、学内模擬試験、外部講師による対策セミナー、各専任教員による個別指導等を実施するなど、両専攻共に組織的な取り組みと各教員におけるきめ細やかな対応を実施したが、作業療法学専攻は全国平均合格率を下回り不振な結果となった。両専攻で結果を分析の上、より有効な方策を共有しながら、令和4(2022)年度は共に全国平均を上回るだけでなく受験生全員の合格を達成できるよう更なる組織的な対策を検討していく。言語聴覚専攻科においては、令和3(2021)年度も合格率100%を堅持し、OCR時代から21年連続合格率全国第一位を達成した。

(1) OHSU の合格状況

	受験者数	合格者数	合 格 率
理学療法士	74名	67名	90.5%
作業療法士	22名	17名	77.2%
言語聴覚士	26名	26名	100%

(2) 全国の合格状況

	受験者数	合格者数	合 格 率
理学療法士	10,549名	9,296名	88.1%
作業療法士	4,861名	4,311名	88.7%
言語聴覚士	2,593名	1,945名	75.0%

3. 就職の状況

求人状況は理学療法士 2,496 件、作業療法士 2,415 件、言語聴覚士 1,411 件であった。

各専攻、専攻科ともに、就職セミナーや面接指導を実施した。また、専任教員が求人票に基づき学生指導を行うと共に臨床現場におけるネットワークを最大限活用し就職支援を行った結果、求人数はコロナ禍以前と比較し減少しているが、下記の通りの成果を得た。

	卒業者数	国家試験 合格者数	専任職としての就職者数	
			資格に係る業	その他
理学療法学専攻	74 名	67 名	63 名	3 名
作業療法学専攻	22 名	17 名	17 名	0
言語聴覚専攻科	26 名	26 名	26 名	0

4. 教育指導

本学では、令和 2 (2020) 年度から新型コロナウイルス感染症対策の一つとして本格的に遠隔講義（オンラインやオンデマンド）を取り入れ、令和 3 (2021) 年度についても教育上必要があり、かつ十分な教育効果をあげることができると教学委員会が認めた科目については、コロナ対策以外でも恒常的に遠隔授業を実施した。また、新型コロナウイルス感染症の感染状況によって、大阪府のステージや要請に基づき、全面遠隔授業もしくは、対面授業と遠隔授業日のハイブリッド型で実施した。保健医療学研究科においても、学部・専攻科同様に遠隔講義を取り入れた。

保健医療学部においては、平成 30 (2018) 年度より 2 学期クォーター制導入に伴い、PT・OT 完全 3 クラス制を実施し、令和 4 (2022) 年度で 4 年目となる。これまでの結果を分析し、教育効果を維持しつつ教員の負担増等の課題について解決すべく、教学委員会で令和 3 (2021) 年度に見直しを行い、令和 4 (2022) 年度より座学・実技・演習科目に応じて、クラス編成を改定する事とした。

また、令和 3 (2021) 年度において、フォロー制度の実施状況とその効果、問題点等を抽出したところ、フォロー制度の導入は退学率の低下につながっている事が明らかとなった。十分な学習機会を設けているという事実は、本学が目指す人材を育成するための独自の教育システムとして、他学との差別化においても継続するメリットが大きいと考えられる。一方で、学習低迷者の内でも、勉強をしない（怠慢）ために成績が低迷している学生にとっては、勉強の先延ばしにしかならず、継続フォロー制度があるが故に、フォロー授業を真剣に受講しない学生も散見され、成績低迷者の効果的な底上げには課題がある事も確認された。その為、令和 4 (2022) 年度よりフォロー制度を一部改正し、学修意識を向上させる仕組みや学習支援塾と連携した継続フォロー制度を再構築し、これまでのフォロー制度の効果を引き継ぎながら、成績低迷者の効果的な底上げを図れるよう努める。

言語聴覚専攻科については、通常授業時の細やかな学生指導に加え、国家試験対策として学習低迷者の個々の特徴を捉え、教員がきめ細かに指導方針を共有しあいながらグループ指導や個別指導を行い、令和 3 (2021) 年度の国家試験も合格率 100%を達成した。

5. 施設・設備

令和 3 (2021) 年度に実施した学生生活アンケート結果（視聴覚に対する改善を求める意見）及び令和 3 (2021) 年度より発足した学生満足度アゲ隊（学生及び教職員代表者で構成）からの意見を踏まえて、以下の AV 機器の改修工事及びイスの新規購入を行った。

- ・ 1 号館 141 教室・151 教室 プロジェクターの改修及びモニターの新規設置。
- ・ 2 号館 601 教室・講堂 プロジェクターの改修、作業実習室 1 モニターの新規設置。
基礎医学実習室及び治療実習室 イスの新規購入。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、空気清浄機を新規購入した。

- ・ 1 号館 2F (1205.1206.1207.1208)・5F (154.155.156.157.158)
- ・ 2 号館 情報処理室一式 (PC、床張替及び什器) 新規入替を行った。

6. 自己点検・評価

「自己点検・評価報告書」で示している各基準項目の「改善・向上方策」の継続課題について、担当委員会・部署にて内容を精査し実行に移していくことで PDCA サイクルに則り、諸活動を実施した。さらには、令和 4 (2022) 年度の財団法人日本高等教育評価機構へのⅡ期目の認証評価受審に向け準備を開始した。

☆ 福田学園校友会の活動状況

1. 理事会及び部会の開催

①理事会

理事会は 6 回開催され、研修活動、在校生支援活動、総会準備、予算案等について積極的な議論がなされた。本年は Web と対面を併用したハイブリッドの理事会となった。

②部会研修会

新型コロナウイルスの影響を考慮して、Web 開催の研修会を 6 回実施した。3 部会合同研修会 1 回、PT・OT 合同研修会 1 回、OT・ST 合同研修会 1 回、OT 研修会 3 回。

2. 福田学園校友会総会について

総会も Web 開催で行い、予算案を承認いただいた。

3. 在校生・学校支援について

- ・ 学園に新型コロナ対策費用として、300 万円を寄附した。
- ・ 在校生支援（椅子購入費助成）として、20 万円を補助した。
- ・ 学校行事（卒業式・入学式）には、オンデマンドで会長が祝辞を述べた。
- ・ 卒業式では、校友会賞として賞状・副賞を各専攻の 1 人を表彰した。
- ・ ドラゴンボート大会では、OCT 校友会に協賛という形で参加した。

★ 福田学園

1. 理事、監事、評議員について

理事	選出母体	
1号	設置する学校の長 (1名)	福田 益和
2号	評議員会 (2名)	宮崎 安弘 佐藤 誠
3号	学識経験者 (4名)	山本 一仁 水島 洋 渡邊眞一郎 福田 眞
監事		村岡 かほる 菊田 薫

評議員	選出母体	
1号	学園職員 (6~8名)	福田 益和
		佐藤 誠
		伊東 和幸
		石倉 隆
		島 雅人
		越智 久雄
		宗林 功
2号	卒業生 (3~4名)	今西 永兒
		宮本 光二
		村野 智子
		井口 知也
3号	学識経験者 (6~8名)	宮崎 安弘
		山本 一仁
		水島 洋
		福田 眞
		福田 祐子
		岡山 保美
		高橋 弘樹

2. 教職員の状況

		2022年5月1日 現在	2021年5月1日 現在	増 減
OCT教員	専任教員	15	16	-1
	非常勤講師	76	77	-1
	(小 計)	91	93	-2
OCR教員	専任教員	15	15	0
	非常勤講師	98	80	+18
	(小 計)	113	95	+18
OHSU教員	専任教員	33	34	-1
	非常勤講師	193	175	+18
	(小 計)	226	209	+17
事務局	専任事務職員	33	31	+2
	業務委託派遣事務職員	1	1	0
	(小 計)	34	32	+2
合 計	専任教職員	96	91	+5
	講師・派遣	368	331	+37
	(合 計)	464	422	+42

3. 経費削減対策について

ここ数年で、学園のサーバーのクラウド化、及びネット回線及び光電話の契約先の変更による経費削減、学園全体の複合機、コピー機、プリンターの全台入替えによる経費削減、また、空調機の更新、及びデマンドコントローラーの更新及び電力使用量の監視、1号館照明器具のLED化を行い電気料金の削減を継続して行った。

4. 学園各号館の施設・設備改修計画について

各号館の建物附属設備・機器等について、改修及び入替について緊急性や費用を鑑み、年次で実行に移すための改修入替計画において、令和3(2021)年度は、漏水のあった1号館 北側外壁改修工事及び3階バルコニー防水及び東面外壁防水等改修を行った。さらには、2号館の情報処理室PC等(PC・床張替・什器一式)の入替及び各教室の音響設備更新を行った。

5. 自己点検評価、学校関係者評価、第三者機関評価及び評価結果公表について

OHSUにおいては、平成27(2015)年度に「日本高等教育評価機構」による大学認証評価(第三者評価)を受審し、機構が定める大学評価基準に【適合】との認定を受けているが、令和3(2021)年度は、「日本高等教育評価機構」による大学認証評価(令和4(2022)年度)のⅡ期目受審に向けた検討・準備を進めた。

OCT、OCRでは令和3(2021)年度においても、職業実践専門課程の認定(申請条件)の中で、文部科学省が策定したガイドラインに基づき、学内における自己点検・自己評価、また、外部関係者を委員とした学校関係者評価を行うとともに、その結果をOCT、OCRホームページ上に公開した。

また、令和3(2021)年度にOCRでは両学科とも(一社)リハビリテーション教育評価機構の認定審査を受審し、「適合」の認定を受けた。

6. 「教育の質の確保と向上」に向けた5カ年計画の策定について

経済状況の変化やグローバル化、就労に対する価値観の多様化、少子化等、学校を取り巻く環境は、日々が大きく変化している。この様な大転換期においては、安定した学生数の確保のため、更なる信頼性の向上が求められ、特に教育の質の確保と向上に向けた取組みを行った。このため、引き続き令和3(2021)年度もOHSU、OCT、OCRにおいては、教育の質の確保と向上に対する5カ年計画(「中期展望および期間中の取組み」)を策定の上、目標設定等具体的に取組み、3校とも「教育機材、機器備品の購入、校舎、建物附属設備の改修」については、計画の項目に必ず盛り込むこととした。

7. 教育訓練給付制度(専門実践教育訓練)の指定について

厚生労働省が主幹となり、非正規雇用労働者である若者等がキャリアアップ・キャリアチェンジして安定的に働くことができるよう教育訓練給付が拡充された『専門実践教育訓練』において、OCRでは、令和2(2020)年度に理学療法学科(3年制)において再指定を受けることができた。

OCTでは、令和2(2020)年度に新規指定から継続して2度目の再指定を受けることができた。

8. ネット出願の導入について

OCTに於いては、平成28(2016)年度より「キャリア教育共済協同組合」のネット出願事業の先行的取組みをスタートさせ、ここ過去3カ年の実績では【令和元(2019)年度95名、令和2(2020)年度94名、令和3(2021)年度83名】となっており、第1回目入試から各回入試に於いても一定数

のネット出願がある。しかしながら18歳人口減少の影響を受けて、平成30（2018）年度までの傾向として出ていた年明け1月以降の大学からの進路変更者や併願組による顕著な傾向も見られなくなった。その事からも今後、文科省が推進する『高大接続改革』にも対応したネット出願のシステム内容についても注視して行く必要がある。

OHSU（学部・ST）およびOCRは、全ての入試をネット出願にて実施した。文科省の方針では、令和5年（2023）年度入試にむけて調査書の完全電子化を目指すとしており、今後eポートフォリオの普及等と相まって、高校生・社会人の隔てなくネットでの出願が加速すると見込まれる。

参考資料

★大阪工業技術専門学校

<学科別学生数の状況>

（令和4（2022）年5月1日現在）

学 科 名	修業年数	1学年	2学年	在籍数	増減	総定員	充足率
建築学科	2年	122	86	208	-33	240	86.7%
建築設計学科	2年	34	25	59	+2	60	98.3%
大工技能学科	2年	43	32	75	+5	80	93.8%
インテリアデザイン学科	2年	34	26	60	-17	80	75.0%
ロボット・機械学科	2年	34	36	70	-12	80	87.5%
建築士専科	1年	33	—	33	+2	50	66.0%
I 部 小 計		300	205	505	-54	590	85.6%
増 減		+1	-55	-54			
建築学科Ⅱ部	2年	66	52	118	+13	100	118.0%
フレックス建築学科	2年	0	10	10	-5	80	12.5%
Ⅱ 部 小 計		66	62	128	+8	180	71.1%
増 減		+2	+6	+8			
合 計		366	267	633	-46	770	82.2%
増 減		+3	-49	-46			

★大阪リハビリテーション専門学校

<学科別学生数の状況>

（令和4（2022）年5月1日現在）

学科名	修業年数	1学年	2学年	3学年	4年生	在籍者数	定員	在籍率 (%)
理学療法学科	3年	41	38	24	—	103	120	85.8
作業療法学科	3年	35	29	25	—	89	120	74.2
合 計		76	67	49	—	192	240	80.0

★大阪保健医療大学

<学科－専攻、専攻科別学生数の状況>

(令和4(2022)年5月1日現在)

専攻名	修業 年数	1学年	2学年	3学年	4年生	在籍者数	定員	在籍率 (%)
理学療法学専攻	4年	85	79	76	60	300	280	107.1
作業療法学専攻	4年	26	20	37	32	115	120	95.8
学部小計		111	99	113	92	415	400	103.8
保健医療学研究科	2年	3	3	—	—	6	12	50.0
言語聴覚専攻科	2年	21	21	—	—	42	80	52.5
合計		135	123	113	92	463	492	94.1